

公表:令和2年12月21日

7名回答

事業所名 あんあんclass白石中央ルーム

	チェック項目	7名回答			課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	② 職員の配置数は適切であるか	100%			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	86%	14%		特性に応じて視覚的構造化に取り組んでいます。実用はありますが、室内に段差はありますが、今後、必要に応じて対応していきたいと思えます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごす環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	57%	43%		事業所の中で改善出来る事に限らず、目標設定と振り返りが出来ていると思えますが、事業所の目的や理念は異なる部分もやあるのが現状であり今後の課題だと思っています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%	14%		保護者向け自己評価表の他に、月に2回アンケートをとり定期的に聞き保護者様からの意向を把握しております。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	71%	29%		会報では公開しておりますが、ホームページにて公開しております。今後の評価より保護者様に情報で公開していきたいと思えます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14%	72%	14%	第三者による外部評価は行っておりませんが、毎月、事業所の機能による施設チェックが行われております。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	57%	29%	14%	パート職員は研修参加が難しい場合がありますが、その結果業務を任せ、事業所内に発生し業務改善について勉強出来るよう取り組んでいます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			毎月のモニタリングやモニタリングをもとに評価を行っています
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	71%	29%		毎回ではありませんが、使用していきたいと思えます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	86%	14%		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	57%	43%		職員がメインで立案していますが、パート職員からのアドバイスも良いながら取り組んでいます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	43%	57%		固定化しない工夫も、そのおかげでプログラムも工夫が出来ると思っています。個別課題はその状況に応じて柔軟に対応出来るよう取り組んでいます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	72%	14%	14%	日報を前日に共有しています。役割の分担や活動内容の役割分担については確認を行っております。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	72%	14%	14%	支援終了後は勤務終了時間となる必ず打ち合わせを行うという事は出来ませんが、共通のツールを使い振り返りや情報共有を行っております。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				

関係機関や保護者との連携	①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	86%	14%			基本的には児童発達支援責任者が参加しております
	②	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	43%	57%			関係機関を利用している保護者の方がいれば連携していきたいと思っております。
	③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	57%	29%	14%		幼稚園・保育園を利用しているお子さんに限らずしては、お返事にはお返事しておりますが、今年度はコロナの影響で移行はございません。
	⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小中学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	29%	57%	14%		こちらも保護者をして、希望がありましたら行っています。
	⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	43%	57%			今後検討していきたいと思っております。
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		71%	29%		コロナ禍の為、今年度はありませんでした。今後は検討していきたいと思っております。
	⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	29%	71%			子ども部会での情報には参加しております。地域の子ども子育て会議等は開催状況を把握は出来ていますが、参加頻度については参加が出来る限りあります。
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	86%	14%			日頃からお子さんの状況や課題についてはお話ししていますが、共通理解を深めているという点ではまだ課題があります。保護者様ご自身の子どもへの関わりや障がいや発達障害との理解が深まることによって共通理解が深まっているのではないかと考えています。
保護者への説明責任等	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	57%	29%	14%		プログラムまでとは言えませんが、保護者から相談を受けた際にはペアレント等の対応を行っています。
	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	86%	14%			ガイドラインの内容を説明してはございますが、支援内容におきましては同意いただいております。
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	29%	71%			父母の会は結果としていません。今年度はコロナの影響で実施できていない状況です。保護者同士の連携を促進し、保護者同士の連携を促した。コロナが落ち着き次第実施していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	71%	29%			ホームページで発信していますが、今後はお便りの発行を検討していきます。
	⑱	個人情報等の取扱いに十分注意しているか	86%	14%			
	⑲	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	43%	43%		招待する等はおこなっていませんが、地域行事に参加した。イベントやイベントでも参加を促しております。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%				
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	71%	29%			自らの防災センターにも同じような訓練を実施しております。
	㉓	事前に、服薬や手洗接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	100%				
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	100%				
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				
	㉖	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				
	㉗	どのような機会にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	71%	29%			身体拘束に関しては契約時にお話しておりますが、お子さんには説明してはおりません。お返事、身体拘束を行うような状況が想定されるお子さんがいない事もありますが研修には記載しております。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。